



社会医療法人 山 紀 会

Yamakikai
Introduction



ご挨拶

社会医療法人山紀会沿革

地域の保健・医療・福祉を守るという大きな使命を全職員が忘れることなく、日夜努力を続けてきて半世紀近くが経ちました。1973年に山本第一病院を開設後、77年に医療法人山紀会を設立、80年に山本第三病院を開設致しました。さらに、介護老人保健施設として、99年にやまき苑、2006年にやまき・あべの苑、11年にはるかをオープンし、急性期・回復期・慢性期の医療から施設介護や居宅支援に至るまでの幅広い総合的医療・福祉グループとして成長・発展を遂げて参りました。

今まさに超高齢社会の中、保健・医療・福祉は益々一体的なものとなり、様々な形と高い質が求められるようになりました。これからも当法人の理念を遵守し、地域のあらゆるニーズに応え、皆様が満足感と幸福感を感じていただけますような病院・施設でありたいと考えます。

大阪府西成区医師会 監事
大阪府病院協会 副会長
社会医療法人 山紀会 理事長
山本第三病院 院長
医学博士

山本 時彦

昭和48年 10月	山本第一病院を開設(内科・外科・整形外科・産婦人科)
昭和49年 5月	山本第一病院 救急告示
昭和52年 2月	医療法人 山紀会 設立
昭和52年 4月	医療法人 山紀会 山本第一病院となり、検診部を開設
昭和55年 7月	医療法人 山紀会 山本第三病院を開設 (内科・脳神経外科・整形外科・リハビリテーション科)
昭和55年 10月	医療法人 山紀会 山本第三病院 救急告示
昭和61年 8月	医療法人 山紀会 山本第三病院 日本脳神経学会認定制度に於ける指定訓練施設として認可
平成2年 10月	医療法人 山紀会 山本第三病院 在宅医療・訪問看護・訪問リハビリテーションを開設
平成11年 9月	居宅介護支援事業所を開設
平成11年 11月	医療法人 山紀会 介護老人保健施設やまき苑を開設
平成12年 4月	ケアプランセンターを開設
平成14年 1月	医療法人 山紀会 訪問看護ステーションを開設
平成16年 4月	医療法人 山紀会 山本第三病院 日本老年精神医学会専門医制度による認定施設に指定
平成16年 7月	医療法人 山紀会 やまき介護すてーしょんを開設
平成16年 10月	医療法人 山紀会 山本第三病院 大阪市立大学臨床研修協力病院として指定
平成17年 4月	医療法人 山紀会 グループホーム華を開設
平成17年 4月	医療法人 山紀会 デイサービスやまきを開設
平成18年 10月	医療法人 山紀会 介護老人保健施設やまき・あべの苑を開設
平成18年 11月	医療法人 山紀会 山本第三病院 日本外科学会専門医制度関連施設として指定
平成19年 4月	山本第一病院にて、通所リハビリテーションを開設
平成21年 4月	医療法人 山紀会 山本第三病院 大阪市立大学医学部臨床実習施設に指定
平成21年 8月	医療法人 山紀会 山本第三病院 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院に指定
平成21年 12月	医療法人 山紀会 山本第三病院 日本消化器内視鏡学会指導施設として指定
平成22年 4月	医療法人 山紀会 山本第三病院 薬学生実務実習受入施設に指定
平成23年 12月	医療法人 山紀会 介護施設はるかを開設
平成26年 4月	DPC(包括評価制度)対象病院
平成26年 12月	日本呼吸器学会関連施設に指定
平成28年 1月	日本消化器病学会専門医制度認定施設に指定
平成30年 1月	日本大腸肛門病学会関連施設に指定
平成31年 4月	日本整形外科学会専門医研修施設に指定
令和5年 4月	社会医療法人として認可



社会医療法人

山紀会 理念

vision

最良の医療と介護サービスの提供により、
すべての人に満足感と幸福感をもたらします

山紀会の志し

「最良の医療と介護サービスの提供により、すべての人に満足感と幸福感をもたらします」

山紀会ではこの言葉を理念として掲げ、各施設のスタッフ全員が地域の保健・医療・福祉への貢献に取り組んでおります。医療施設では、24 時間体制の救急医療および急性期医療・慢性期医療、また福祉施設では施設介護や居宅支援といった、幅広い医療・介護サービスを展開。

今後さらに各スタッフがそれぞれスキルアップを図るとともに、人員と設備を充実させつつ、医療と介護が一体となったきめ細かなサービスを提供して参ります。

運営コンセプト

昨今の超高齢社会を背景に、医療と介護はより密接な関係性を築いてきております。こうした現状を踏まえ、山紀会では、社会的なニーズに応えるためにも医療・介護の両事業を展開。さらに大阪市南部の地域医療を担う使命感・責任感のもと、医療サービスのさらなる充実を図るべく、山本第一病院・山本第三病院それぞれの病院機能を明確に分担しました。山本第一病院は長期療養型の慢性期医療を担い、山本第三病院は 24 時間・365 日絶え間なく稼働する救急医療・急性期医療を担う、というように医療体系で役割を分け、診療の効率化・医療の資質向上に努めております。介護サービスにおきましては、3 カ所の介護老人保健施設を中心に、通所リハビリ、デイサービス、グループホーム、有料老人ホーム、訪問介護などの施設介護や居宅支援により、ご利用者一人ひとりの「最良」を求めて、きめ細やかなサービスの提供に努めております。

これからも、時代のニーズにあった地域密着型の医療・介護サービスに取り組んで参ります。



山本第三病院



内科

高度化する医療に対応する最新設備

高度化する医療に対応するため、消化器医師による消化器センター、呼吸器医師による呼吸器専門外来、神経内科医師による頭痛外来、もの忘れ外来（パーキンソン病含む）など、各専門領域のスタッフで診療にあたっています。的確な診断、治療を確実にするため、上部・下部の内視鏡検査、気管支鏡検査、マルチスライス CT・MRI 検査等の最新医療設備を導入し、地域の方々の健康を守る医療に取り組んでいます。



内視鏡室



内視鏡



エコー



消化器センター

当院消化器センターは、食道、胃、十二指腸などの上部消化管、小腸、大腸など下部消化管や肛門、さらに肝臓、胆嚢、膵臓など消化器領域全般にわたって広く診療を行っております。消化器内科4名、消化器外科医3名の医師7名で構成されており、それに加えた3名の看護師と3名の臨床検査技師が診療に加わっております。

外科

的確な診断・治療で地域医療に貢献

当院外科では、消化器疾患、救急疾患を中心に診療を行っております。検査としては、上部下部内視鏡検査、CT検査、腹部超音波検査に積極的に取り組んでいます。また、胆石症、虫垂炎、ヘルニア、肛門疾患、消化器出血などをはじめとして胃癌、大腸癌、肝癌などの消化器癌に対し、手術加療を行っております。最近では早期癌に対しても、内視鏡治療を行っており、腹腔鏡手術においては、胆石症だけでなく、腹膜炎や大腸手術症例などの低侵襲治療を積極的に取り入れております。どのような疾患の患者様に対して、的確な診断・治療を行い、地域医療に貢献できるよう努力してまいります。

バイオフィクリーンの3つの手術室



第一手術室



第二手術室



第三手術室

脳神経外科

早期発見、早期治療で 症状の悪化を最小限に

当院では脳梗塞発症直後に有用な血栓溶解術(tPA)治療や、脳保護薬(ラジカット)等の薬剤を使った治療、また脳梗塞などの的確な診断に必要なCT、MRIでの画像診断を実施し、早期の発見と早期のリハビリテーションに努めています。入院による生活状況の変化にともなう不安への対応など、医師・看護スタッフはもちろんソーシャルワーカーとも連携しながら、病後のスムーズな経過をめざしております。



カンファレンス



最新の設備で 高度な専門医療を

脳神経外科では、脳卒中や頭部外傷、さらには脳腫瘍などの治療を主に行なっております。また当院では24時間救急治療も行なっておりますので、脳卒中や頭部外傷などの救急疾患に対しては、脳外科専門医が初期段階から対応し、迅速な処置が行うことができます。設備的にも充実しており、脳血流測定装置やマルチスライスCTスキャン、MRIの導入により非侵襲的診断ができ、患者様の負担を軽減できる手術が行えるようになりました。高度な専門医療を提供できるよう日々努力を重ねてまいります。



血管造影

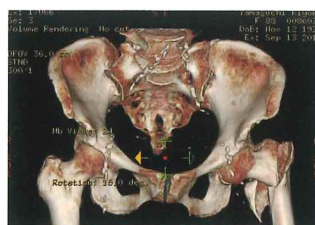


MRI 操作室

整形外科

今後の高齢化を見据えた診療

当整形外科では、骨折、脱臼、捻挫、打撲の治療のほか、変形性関節症の急性疾患・慢性疾患・腰痛・関節リウマチ等、専門医が診察を行なっています。月曜日から土曜日までの外来診察を基本に、24時間の救急対応までを行なっております。地域の医院・病院よりの紹介患者様は当然ながら、市の救急要請による整形外科患者様にも最大限に対応しております。手術手法に関しても最新の手術法を導入し、患者様にできる限り負担をかけない治療法を心がけております。今後増えていく一方である高齢化に伴う、大腿骨の頸部・転子部の骨折にも、迅速な対応を心がけており、手術後の早期リハビリテーション導入に力を入れております。少しでも、骨折前の状態にまで回復していただくことを念頭に、医師、看護師、整形外科職員一同、日々診療させていただきます。





山本第三病院 看護部長 松雄 公子

看護部

私たちは、患者様中心の看護を目指します

自分の生活を大切にしながらキャリアを活かす。
仲間を大切に、尊重しながら共に成長できる職場環境作りを目指して
努力しています。

看護部行動指針

事故防止に努め安全な看護の提供をします。
患者様に満足していただける質の高い看護を提供します。
看護実践能力の向上に努めます。
継続医療を提供します。



地域に愛され、信頼される病院を目指して

私たち看護部は、病院の理念に基づき、患者様に安心して医療を受けていただくことで満足感をお届けできる看護サービスを目指しています。そのために、看護部と関連部署が協働して患者様と向き合うと共に、看護師一人ひとりが専門職として職責を全うできるよう努力を重ねています。看護教育においては、教育担当者を中心に、時代の変化に即応した質の高い看護サービスを提供できる看護師を育成すべく、魅力ある教育プログラムを組んでいます。

栄養科

安全でおいしい食事を治療の一環として提供

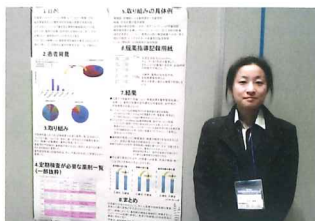
当院では温冷配膳車により、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供しています。入院患者様の病状にあった食事を医師の指示により、治療の一環として提供。栄養指導や栄養管理も行なっています。糖尿病や胃潰瘍の方の「治療食」をはじめ、咀嚼・嚥下が困難な方には「嚥下訓練食」、胃の手術後の方には「分割食」など対応しています。食欲のない方には直接お話を伺い、嗜好に配慮した内容に変更したり、栄養補助食品の追加を実施するなど、少しでも召し上がっていただけるよう工夫しています。栄養指導は外来でも予約制で実施しており、糖尿病、高血圧症の集団栄養指導教室も年3回ずつ開催しています。



薬剤部

薬学的な見地から安心を提供

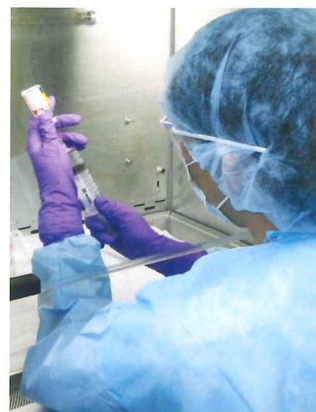
当薬剤部の業務は、内服薬・外用薬・注射薬の調剤をはじめとして、注射薬無菌混合調製、癌化学療法への関与、薬剤管理指導業務（入院患者様への服薬指導）、医薬品の適正管理、医薬品情報提供業務など多岐にわたっています。患者様が安心して薬物療法を受けることができるよう、常に薬学的な見地から考察を加え、業務を行なっています。



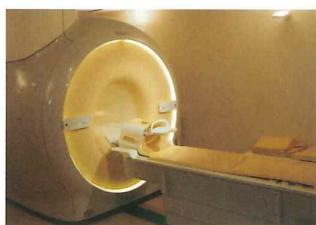
学術大会発表



薬剤管理指導



無菌調整



MRI 室



CT スキャン

当院の放射線科では、患者様に的確な診断治療と快適な入院生活を提供するため、最先端の高度医療機器を導入し、設備の充実を図って地域医療の中核病院としての役割を果たしております。また当院のすべての診療科で活用されているX線撮影やCT・MRI、血管撮影など、各科における診断や治療をサポートし、診断根拠に基づく医療の中心となっています。

放射線科 的確な診断をサポート

臨床検査科

正確なデータを24時間迅速に検査

山本第三病院臨床検査科は、正確かつ迅速な検査データの提供をモットーに、検査技術の向上に努め24時間緊急対応ができる体制も整え、信頼される臨床検査科を目標に努力しております。臨床検査科は採取された血液や尿、その他の材料を用いて検査する検体検査部門と、患者様の身体から直接生体情報を記録・撮影する生体検査部門に分けて業務しております。



自動分析装置



検査風景

リハビリテーション科

一日でも早い社会復帰をめざして

当院では、脳卒中等の病気により入院された患者様が住み慣れた地域で活き活きと豊かに生活するために、一日も早い社会復帰を目指し、マンツーマンの治療・訓練を行なっています。理学療法士は運動能力麻痺等の障害に対して運動療法や動作訓練を行い、作業療法士は、木工、手芸、園芸などの作業活動を通じて自立的な生活が行えるようサポートします。また言語聴覚士は失語、構音障害などに対し発語訓練、書字能力、理解能力、コミュニケーション能力等の獲得のための訓練を行います。



リハビリテーション室



リハビリテーション

訪問看護ステーション・ケアプランセンター

安全・安心・信頼をモットーに

当院の訪問看護サービスは、安全、安心、信頼をモットーに利用者様の思いに沿った看護をおこなっております。医療処置の必要な方、認知症や精神的に不安のある方、自宅で最期まで過ごしたいと思われている方。住み慣れたご自宅での生活をお一人お一人に合わせてお手伝い致します。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などが定期的に訪問して、医療必要度の高い要介護者を在宅で支援する担い手としてご家族様、主治医、関連したサービス事業者の皆様と協働してまいります。

今後も地域に密着した訪問看護ステーション、ケアプランセンターを目指します。



訪問看護ステーション・ケアプランセンター

地域医療連携室

地域の皆様が抱える医療の悩み、療養生活の悩みや問題の解決に向け柔軟な対応を実践

2009（平成 21）年地域医療連携室が誕生し、急性期の病院として近隣の医療機関よりの入院受け入れ、各種検査予約等の受付などの前方支援から、介護保険等の各種制度を利用した退院支援等の後方支援を一貫して行っております。2014（平成 26）年 5 月より医事課 3 名の応援を得て 4 名体制で前方支援を、3 名体制で後方支援を行っております。2014（平成 26）年 4 月 1 日より DPC 対象病院となり、急性期病棟の平均在院日数がより短くなっております。対象疾病



に対し軽快すれば退院していただいております。退院困難な患者様、リハビリテーションが必要な患者様には、当院の強みであります療養病棟、回復期病棟、又、療養型病院である山本第一病院への転院、「やまき苑」「やまきあべの苑」「はるか」の介護老人施設、有料型老人ホーム「はるか」グループホーム「華」等々への入所など選択肢が多く、地域に根ざした病院・地域医療連携室として、活動しております。

24時間365日、誰もが安心して暮らせるために

当院は大阪府指定二次救急医療機関であり、突然の怪我や病気に対して24時間365日昼夜を問わず、内科・外科・整形外科・脳神経外科の救急搬送を受け入れております。西成区及び住之江区等大阪市南部を中心に、年間約4,000件の救急搬送を受け入れており、自己来院を合わせると、年間約6,000件あまりの救急患者様を受け入れています。急な来院でも初期の段階から専門医の診察が受けられる体制を整備しておりますので、正確な診断を行うことができます。救急搬送の受け入れに最大限応じられるよう、救急担当医

が常時診療に従事し、さらにコ・メディカルスタッフが24時間体制で勤務、レントゲン・CT・MRI等の撮影及び緊急内視鏡や血液検査等の各種検査が可能です。また必要に応じ、消化器疾患や頭部疾患等の緊急手術にも各科専門医により対応しております。

今後も大阪南部の救急医療を担う医療機関として、救命救急医療及び専門的治療を担う医療機関との連携強化、患者様へ最良の救急医療を提供するために努めてまいります。



協力医療機関

赤木医院
相澤医院
安慶名医院
浅井クリニック
浅野クリニック
石田クリニック
糸氏医院
いなぎクリニック
今村医院
岩本医院
大阪自彊館診療所
大村医院
小野内科医院
加賀屋診療所
加納医院
加納診療所
亀井医院
神崎クリニック
北野皮フ泌尿器科

倉知内科
桑原医院
小池外科
古志医院
斉藤医院
堺近森病院附属診療所
榊原クリニック
阪本医院
佐々木診療所
思温病院
すぎもと医院
鈴木診療所
隅本医院
千住泌尿器科クリニック
大和中央病院
たかしまクリニック
たけなか整形外科クリニック
竹本診療所
たぞえ診療所

田端医院
玉井クリニック
趙診療所
つばさクリニック
ながてクリニック
難波医院
なんば南藤吉医院
二木医院
西成民主診療所
延安医院
橋本医院
ばばやクリニック
浜崎医院
林内科循環器科
ピアンエトール恭愛附属診療所
ひかりクリニックシノハラ
ひらい医院
ひろクリニック
まえだクリニック

まほら会診療所
神子田医院
溝口医院
南津守医院
美濃クリニック
三村整形外科
村上眼科
森本診療所
森本整形外科
安本クリニック
山下クリニック
山中医院
吉田医院
吉村医院
わだ内科整形外科
渡辺医院

ご紹介窓口 山本第三病院 地域医療連携室 TEL 06(6658)9316

山本第三病院 概要

開設年月: 昭和55年7月
〒557-0063 大阪市西成区南津守4丁目5番20号
TEL 06-6658-6611(代) FAX 06-6652-9553
急性期一般病床/266床 医療療養病床/81床
合計/347床

山本第一病院

山本第

療養環境を重視した
慢性期医療センター

山本第一病院 院長

高折 洋

関西医科大学卒業
日本内科学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

安全かつ質の高い医療療養サービスを提供いたします

山本第一病院は療養型病院であり、現在ご入院の方は、ほとんどがご高齢の方です。お歳を召された方は、常に人生の先輩であること、そして我々がいつかは必ず通る道であるという事を忘れずに、医療に取り組まなければならないと考えます。



山本第一病院 看護部長

三好 悦代

個人の魅力を引き出しあえる職場を作しましょう

看護部の理念として「患者様の尊厳を遵守し、患者様と共に歩む看護を提供します」と上げています。即ち、患者様を地域で生活されている生活者であると捉え、安心・安全・満足につながる看護を目指します。

一方、看護職員として、充実した仕事ができるよう、院内・院外研修に取り組み、スキルアップすることで、「仕事楽しい」と思えるような活き活きした環境作りを目指します。



リハビリテーション科

それぞれの状況や目的に合わせた
最適なリハビリテーションを

当院のリハビリテーション科は、急性期から在宅
まで、様々な場面でのリハビリテーションの経験
を有した職員で構成され、患者様の回復段階に
応じたリハビリテーションを提供しています。

薬剤部

患者様が安心して治療に専念できる
安全な薬物療法を提供します

薬剤部の業務は、内服薬・外用薬・注射薬の調剤業務に
加え、服薬指導・薬歴管理・医薬品情報提供を行って
います。慢性期医療の中で、患者様個々に適した医薬品
の選択と用法・用量を考え、患者様の安全を図ります。



山本第一病院 概要

開設年月: 昭和48年10月
〒557-0041 大阪市西成区岸里3丁目10番9号
TEL 06-6658-5511(代)
FAX 06-6659-0500
医療療養病床/120床



やまき苑

介護老人保健施設

在宅復帰をめざして

介護保険制度設立と共に生い育ち、奮励してきた従来型多床室の介護老人保健施設です。「住み慣れた地域で、その人らしい生活」を目指し、常に温かい心で向かい合い、自立支援と利用者本位を心掛け、地域の方々に信頼されるよう努力しています。これからも在宅復帰に向けて、皆様のお役に立つ施設を目指します。

介護老人保健施設の理念

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。



介護老人保健施設 やまき苑 概要

開設年月：平成11年11月

〒557-0045 大阪市西成区玉出西2丁目5番36号

TEL 06-6659-2222(代)

FAX 06-6659-0002

入所定員／100名

通所リハビリテーション／30名

訪問リハビリテーション





介護保険の ユニット型施設サービス

大阪で初めての全室個室ユニット型の介護老人保健施設です。ユニット（10名）ごとに共用スペースや浴室、キッチンなどを完備しており、ゆっくりと安心して過ごして頂くことができます。また、日常生活のサポートや機能訓練など、様々な専門分野の職員が個人の生活に合わせた環境での支援を行います。

介護老人保健施設の役割

1. 包括的ケアサービス施設
2. リハビリテーション施設
3. 在宅復帰施設
4. 在宅生活支援施設
5. 地域に根ざした施設



介護老人保健施設 やまき・あべの苑 概要

開設年月：平成18年10月

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1丁目45番8号

TEL 06-4399-8600(代)

FAX 06-4399-8601

入所定員／100名(全室ユニット型個室)

通所リハビリテーション／30名

やまき・あべの苑

介護老人保健施設



はるか

介護老人保健施設・有料老人ホーム

複合の介護施設として

リハビリ＝介護老人保健施設、生活＝有料老人ホーム、医療＝クリニックが集まった複合型介護施設です。家庭への復帰を目指す方や、家庭での生活に不安があり施設で安心して暮らしたい方、日々の健康管理を依頼されたい方など、利用者の様々な生活環境や心身の状態の変化にあわせて、必要なサービスを十分に提供できる施設を目指しています。プライバシーの確保に努め、利用者の安らぎの時間と空間を創ることのできる施設です。



介護施設 はるか 概要

開設年月：平成23年12月

〒557-0041 大阪市西成区岸里2丁目6番9号

●介護老人保健施設はるか

TEL 06-6659-0030(代)

FAX 06-6659-3701

入所定員／58名 通所リハビリテーション／30名

●有料老人ホームはるか(介護付)

TEL 06-6629-8811(代)

FAX 06-6659-3701

入居定員／42名

●クリニックはるか



グループホーム華

認知症で自宅での生活が困難になられた方が共同で、安心・安楽に過ごしていただけるように設けられた介護保険の指定のサービスです。お買い物、お料理、園芸等の趣味活動等を行います。介護職員が24時間支えます。(2ユニット16床)



デイサービスやまき

介護保険の指定サービスで要支援、要介護の認定を受けられた方がご利用できます。いつまでも在宅生活が継続できるように職員と一緒に、日常生活動作(洗濯・食器洗い・調理等)を行なっています。裏庭で菜園づくり、デイ前の公園にて花壇づくりなどを行ない地域交流もあります。車での送迎、昼食、入浴、レクリエーション、手作業、体操など、社会活動の活性化をうながすサービスです。(定員18名)

やまき介護すてーしょん(訪問介護)

利用者の自立した生活を支援し、あたたかい介護を致します。住み慣れた地域やご自宅で暮らしたい、誰しもが持つそんな願いを叶えるため、専門スタッフが各ご家庭を訪問し、ケアプランに沿って食事、排泄、入浴などの介護・介助全般をサポート致します。



やまき介護すてーしょん 概要

開設年月:

やまき介護すてーしょん 平成16年7月

デイサービスやまき、グループホーム華 平成17年4月

〒557-0055 大阪市西成区千本南1丁目23番28号

TEL 06-6659-9111

FAX 06-6659-9112

●グループホーム／16床

●デイサービス(地域密着型通所介護)／18名

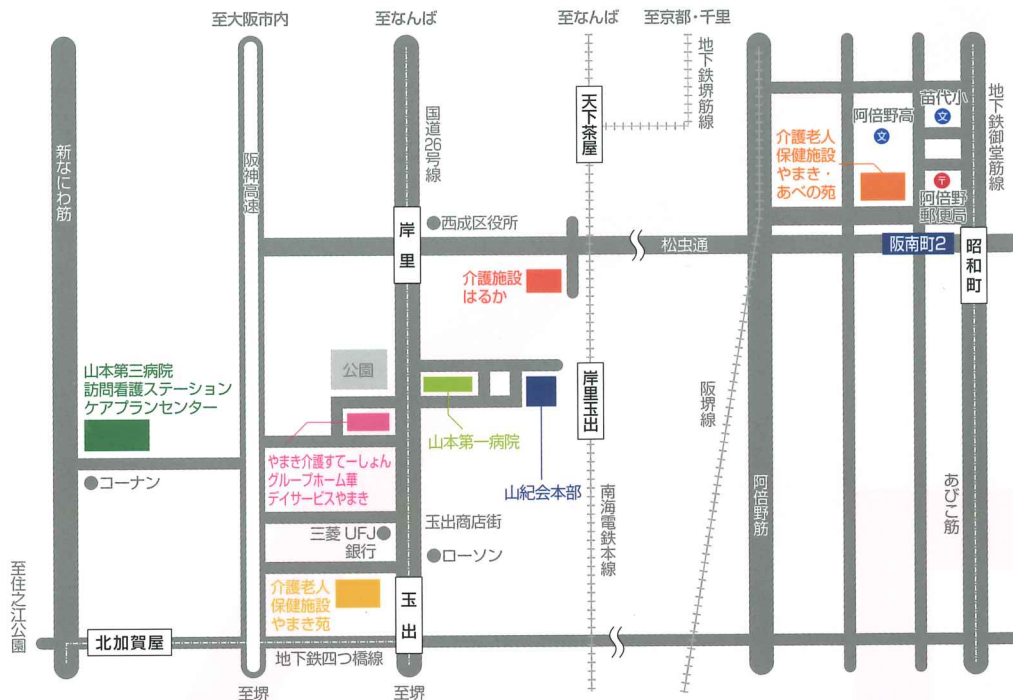
●訪問介護





社会医療法人 山紀会

<https://www.yamakikai.or.jp>



社会医療法人 山紀会 本部

〒557-0041 大阪市西成区岸里3丁目13番13号
 人事部 TEL 06-6658-1000
 FAX 06-6658-6022
 経理部 TEL 06-6658-5559
 総務部 TEL 06-6658-5551

山本第一病院

開設年月: 昭和48年10月
 〒557-0041 大阪市西成区岸里3丁目10番9号
 TEL 06-6658-5511(代)
 FAX 06-6659-0500
 医療療養病床 / 120床

介護老人保健施設 やまき・あべの苑

開設年月: 平成18年10月
 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1丁目45番8号
 TEL 06-4399-8600(代)
 FAX 06-4399-8601
 入所定員 / 100名(全個室ユニットケア)
 通所リハビリテーション / 30名

やまき介護すてーしょん

開設年月:
 やまき介護すてーしょん / 平成16年7月
 デイサービスやまき、グループホーム華 / 平成17年4月
 〒557-0055 大阪市西成区千本南1丁目23番28号
 TEL 06-6659-9111
 FAX 06-6659-9112
 ●グループホーム / 16床
 ●デイサービス(地域密着型通所介護) / 18名
 ●訪問介護

山本第三病院

開設年月: 昭和55年7月
 〒557-0063 大阪市西成区南津守4丁目5番20号
 TEL 06-6658-6611(代)
 FAX 06-6652-9553
 急性期一般病棟 / 239床
 回復期リハビリテーション病棟 / 27床
 療養病棟 / 81床
 合計 / 347床
 ●訪問看護ステーション
 ●ケアプランセンター

介護老人保健施設 やまき苑

開設年月: 平成11年11月
 〒557-0045 大阪市西成区玉出西2丁目5番36号
 TEL 06-6659-2222(代)
 FAX 06-6659-0002
 入所定員 / 100名
 通所リハビリテーション / 30名
 訪問リハビリテーション

介護施設 はるか

開設年月: 平成23年12月
 〒557-0041 大阪市西成区岸里2丁目6番9号
 ●介護老人保健施設はるか
 TEL 06-6659-0030
 FAX 06-6659-3701
 入所定員 / 58名 通所リハビリテーション / 30名
 ●有料老人ホームはるか(介護付)
 (一般型特定施設入所者生活介護)
 TEL 06-6629-8811
 FAX 06-6659-3701
 入所定員 / 42名
 ●クリニックはるか